

宗像市議会

議長 神谷 建一 様

予算決算第2特別委員会

委員長 井浦 潤也

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第62号議案から第68号議案までの7議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、令和3年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

第62号議案 令和3年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 2億1,723万6,874円
歳出決算額 2億1,723万6,874円
歳入歳出差引額 0円
- 2 令和3年度末で会計を閉鎖し、令和4年度より一般会計に移行したため、積み立てていた減債基金を含めた収支差額分を全て一般会計へ繰り出した。
- 3 令和3年度の滞納者は20人、件数は29件で、そのうち13人から納付があり、2人が完済した。令和3年度末時点での滞納残高は6,317万5千円となった。
- 4 本市が第1抵当権を設定している物件について競売を行った。競売による回収金は、入金時期の関係で令和4年度の一般会計の歳入となる。

【意見】

(賛成意見)

- ・国が実施した事業でありながら地方自治体の業務負担が大きいことから、国が一刻も早く対処すべきであると考える。職員の努力と成果については高く評価する。
- ・今後は債務者の高齢化等によって債権の回収がより困難になることが見込まれる。償還推進助成制度について、最後まで廃止しないよう県や国に強く要望してほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

第 63 号議案 令和 3 年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

〔事業勘定〕

- 1 歳入決算額 102億6,655万2,188円（前年度比2.6%増）
歳出決算額 100億7,222万2,687円（前年度比2.8%増）
歳入歳出差引額 1億9,432万9,501円
- 2 実質収支は1億9,432万9,501円の黒字であったが、単年度収支は約900万円の赤字となった。
- 3 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等によって一時的に医療費が減少していたが、令和3年度はその反動により1人当たり医療費は過去最大を更新し、42万145円となった。
- 4 国民健康保険税の現年度分の収納率は97.75%で、前年度より0.42ポイント上昇した。
- 5 医療費適正化の取組として、レセプト点検、柔道整復師施術療養費の点検、ジェネリック医薬品の普及、医療費通知の発送、特定健診受診者に対する運動助成券の提供などを行った。レセプト点検効果率は初めて目標値の0.4を超え0.43となった。ジェネリック医薬品の普及では、先発医薬品の代わりにジェネリック医薬品を使用した場合の差額を記載した差額通知書の発行や医師会・薬剤師会等との連携による利用勧奨などの結果、数量ベースでの普及率は82.5%となり昨年より0.4ポイント上昇した。
- 6 特定健診受診者数は、新型コロナウイルス感染症による影響を受け大きく減少した令和2年度に比べると回復基調である。

〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入決算額 7,835万8,470円（前年度比1.9%増）
歳出決算額 6,982万5,313円（前年度比5.9%減）
歳入歳出差引額 853万3,157円
- 2 新型コロナワクチン接種やPCR検査の実施による診療収入の増加や、新型コロナウイルスワクチン個別接種推進支援金の交付により歳入は増加した。その一方、新型コロナウイルス関連以外での受診が減少傾向であったことに伴う医業費の減少や、大きな施設整備を行う必要が無かったことによる施設整備費の減少により歳出は減少した。
- 3 一般診療の患者数も例年に比べて大きく増加しているが、これも新型コロナワクチン接種やPCR検査の実施によるものである。

【意見】

（賛成意見）

- ・国民健康保険事業の確実な運営と医療費抑制への適切な取組を高く評価する。引き続き、被保険者に寄り添う施策を展開し、事業運営を行ってほしい。
- ・令和3年度は基金等の活用により国民健康保険税額を据え置いたことを評価する。今後も、特別な事情の申請や減免措置など被保険者の個々の事情に合わせた丁寧な対応を要望する。また、子どもの均等割額については令和4年度から国による軽減が実施されたが、今後も軽減について検討してほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

第 64 号議案 令和 3 年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 16億8,598万 916円（前年度比0.7%増）
歳出決算額 16億4,259万9,916円（前年度比0.8%増）
歳入歳出差引額 4,338万1,000円
- 2 歳入及び歳出決算額が増加した要因は、いずれも被保険者数の増加によるものである。令和3年度の被保険者数は、前年度比で75歳以上が398人増加、一定の障がいがある65歳以上75歳未満は11人減少し、全体では387人、2.7%増となった。
- 3 保険料の現年度分の収納率は99.82%で、前年度より0.03ポイント上昇した。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

第 65 号議案 令和 3 年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 79億7,763万1,250円（前年度比0.2%減）
歳出決算額 77億6,786万9,411円（前年度比0.3%増）
歳入歳出差引額 2億 976万1,839円
- 2 要介護認定率は13.7%と微減した。介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、被保険者が利用できるサービスの選択肢の幅が広がったこと、市内日常生活圏域全てに地域包括支援センターが整備されたこと、介護予防事業に積極的に取り組んだこと等が要因と考えられる。
- 3 介護（予防）給付費と地域支援事業費の総額は72億9,074万3,000円で、前年度比約9,200万円の増となった。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、感染防止等の対策を講じて利用者がサービスを利用したことが増加の要因と考えられる。
- 4 包括的支援事業及び任意事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、事業継続及び拡大に努めた結果、前年度と比較して決算額は増加している。
- 5 令和3年度は第8期介護保険事業計画の初年度である。第8期の財政支出の計画値に対する実績値の比率は96.3%で、実績が計画を下回った。

【意見】

（賛成意見）

- ・基金を活用して第8期の介護保険料を引き下げたことは評価するが、複数の通所系サービスの利用を実質的に制限していることについては見直しを図るよう要望する。
- ・介護保険制度利用者に寄り添った支援を行っていることを高く評価する。地域のオアシスともいえる地域包括支援センターについては、各地区のセンターでサービスに差異が出ないよう市が支援してほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

第 66 号議案 令和 3 年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに 4,490 万 6,221 円（前年度比 1.8%減）。
- 2 介護認定審査会は福津市と共同で設置しており、令和 3 年度は 16 合議体で延べ 211 回開催した。審査件数は宗像市と福津市の合計で 4,412 件、その割合は宗像市が 60.9%、福津市が 39.1%である。
- 3 歳出の主なものは、認定審査会の委員報酬と旅費、審査会の判定資料の精査を行う専門職員の人件費に相当する審査会派遣職員負担金である。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

第 67 号議案 令和 3 年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに 5 億 5,002 万 2,055 円（前年度比 8.5%増）。
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年度から旅客数、自動車航送台数ともに激減しているが、令和 3 年度の乗客数は 23 万 6,084 人で前年度比約 9%の増と回復基調である。3 月の大島航路の旅客者数は前年度比で増加しているが、これは宿泊促進事業として実施した宗像泊まってんキャンペーン（第 2 弾）や大島泊まろうキャンペーンの効果によるものである。
- 3 前年度に比べて歳出で事業費が増加しているが、船舶の燃料である軽油の高騰と、船舶修繕の増加によるものである。なお、船員自ら船内を案内する「バックヤードツアー」を初めて企画・実施するなど、コロナ禍の厳しい状況下において渡船独自の新たな取組を行っている。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

第 68 号議案 令和 3 年度宗像市下水道事業会計決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収支の決算状況（税込み）

収入決算額	30 億 1,442 万	43 円
支出決算額	24 億 9,511 万 5,713 円	
- 2 資本的収支の決算状況（税込み）

収入決算額	6 億 2,785 万 1,400 円	
支出決算額	16 億 2,227 万 1,878 円	

収入不足分は、損益勘定留保資金等で補填している。

- 3 経営の健全性を示す経常収支比率は、使用料収入の増加及び資本費等の費用減少により、前年度比1.93ポイント増の120.59%となっており、健全経営水準とされる100%を上回った。
- 4 処理水量は1,104万2,700立米で、前年度比0.4%の減となった。有収水量は938万8,145立米で前年度比0.4%増、有収率は85.0%で前年度比0.7%増となったが、降水量が少なかったことによる不明水の減少が原因と考えられる。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

第70号議案 令和4年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

事業勘定は、歳入歳出それぞれ1億8,628万6千円を増額し、101億8,296万8千円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出の予算総額は変わらず、歳入の内訳を補正する。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

〔事業勘定〕

- 1 令和3年度事業勘定決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額する。また、直営診療施設勘定決算額の確定に伴い、歳入で基金繰入金を減額し、歳出で繰出金を減額する。
- 2 県支出金の精算金として償還金及び還付加算金を増額する。特定健康診査等負担金や普通交付金などの返還のほか、会計検査院による検査で特別調整交付金（結核・精神）が過大交付であるとの指摘を受けたことにより、会計検査院と内容を精査した結果、平成30年度分から令和3年度分までの返還見込額も計上している。

〔直営診療施設勘定〕

令和3年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、事業勘定繰入金を減額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第71号議案 令和4年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ1,338万1千円を増額し、17億6,189万8千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和3年度決算額の確定に伴い、歳入で一般会計繰入金を減額して繰越金等を増額し、歳出で後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 72 号議案 令和 4 年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について

歳入歳出それぞれ 2 億 1, 1 7 3 万円を増額し、8 1 億 3, 9 7 8 万 6 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 令和 3 年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金と一般会計繰入金を増額し、歳出で基金積立金、償還金及び還付加算金と繰出金を増額する。
- 2 令和 4 年度介護報酬改定に伴う介護保険指定機関等管理システムの改修費用として、歳入で国庫補助金と一般会計繰入金を増額し、歳出で総務管理費を増額する。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 73 号議案 令和 4 年度宗像市下水道事業会計補正予算（第 2 号）について

収益的収入及び支出において、収入を 2, 4 6 2 万 4 千円減額し、収入総額を 3 0 億 4, 3 3 5 万 3 千円に、支出を 3, 1 4 6 万 7 千円減額し、支出総額を 2 6 億 8, 6 4 3 万 4 千円とする。資本的収入及び支出の補正はない。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

補正の主なものは、令和 3 年度決算額の確定に伴うものである。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。